

アシ原の再生をめざして

古代「豊葦原国（とよあしはらのくに）」と呼ばれたように、アシ原はこの国の水辺に豊かな自然をもたらす原点ではないでしょうか。

アシ原は多種多様の生き物の生息地であり、地盤強化や水質浄化にも役立ち、また懐かしくも美しい風景は人々に安らぎを与えてくれます。



しかし在来種のアシは外来種に弱く、この地では、11年前の洪水で侵入した「アレチウリ」によって河原一面のアシ原が侵食され、水際に追いやられたまま。河原の生態系が破壊されてしまったのです。

←活動前の 2009年9月のグランド裏
散策路までアレチウリに覆われている

2010年より「丸子の会」は昔ながらの多摩川を取りもどすために、「グループモモ」と「ボーイスカウト大田17団」の協力を得て、「多摩川緑地広場」の河原で外来特定生物の「アレチウリ」と「オオブタクサ」を除去しています。

5年間の活動には多くの困難が伴いましたが、アレチウリもオオブタクサも株数は減り、水辺ではアシが次第に増え、「アシ原」の再生に希望がもてるようまでになりました。

2010年6月20日 第1回アレチウリ除去デー



2015年6月1日



とはいえ、自然は私達の思うようにはなりません。今年のアレチウリの成長が早く、5、6mもツルを伸ばすものがあり、元気になったアシが心配です。

←大きなアレチウリ（世田谷区側でのグループモモの作業）

多摩川の風に揺れるアシの姿は作業の励みです。どうか今後の「除去デー」へのご参加もよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。